

消化器内科



● 全道各地の関連施設

旭川医療センター
旭川厚生病院
旭川赤十字病院
市立旭川病院
くにもと病院
はらだ病院
旭川がん検診センター

吉田病院
旭川三愛病院
北彩都病院
佐野病院
沼崎病院
森山病院

士別市立病院
名寄市立
総合病院

遠軽厚生病院
大原病院
町立中標津病院

帯広中央病院
協立病院
清水赤十字病院
公立芽室病院

イムス札幌消化器中央総合病院
札幌東徳洲会病院
交雄会メディカル記念塔病院
手稲溪仁会病院
札幌徳洲会病院
西岡病院

緑稜会みどりクリニック長沼
砂川市立病院
深川第一病院

美瑛町立病院
上富良野町立病院
中富良野町立病院
富良野協会病院

関口竣也 先生 旭川厚生病院
内視鏡件数が多く、定期だけでなく臨時の内視鏡検査も多いです。そのため多くの症例を経験できます。日常の内視鏡検査や外来診療まで、それぞれ消化管・胆膵・肝臓の各グループの上級医の先生方から、専門性を持ったご指導が受けられます。

石黒達也 先生 旭川赤十字病院
救急医療を活発に行っている病院であり、消化器内科としての救急疾患の初期対応、その後の管理を身につけることが出来る施設です。また消化管・胆膵疾患ともに内視鏡の件数も多く、基本的な技術を学ぶことが出来る病院です。

松永滉平 先生 市立旭川病院
消化器領域の研修においてはIBDセンターがある点が特徴的な医療機関であり、他科とも連携しながらIBDの診断・治療に携われた点は貴重な経験でした。内視鏡件数についても、新型コロナウイルス感染症発生以前よりは件数が減っているものの内視鏡診療を研修する点では十分

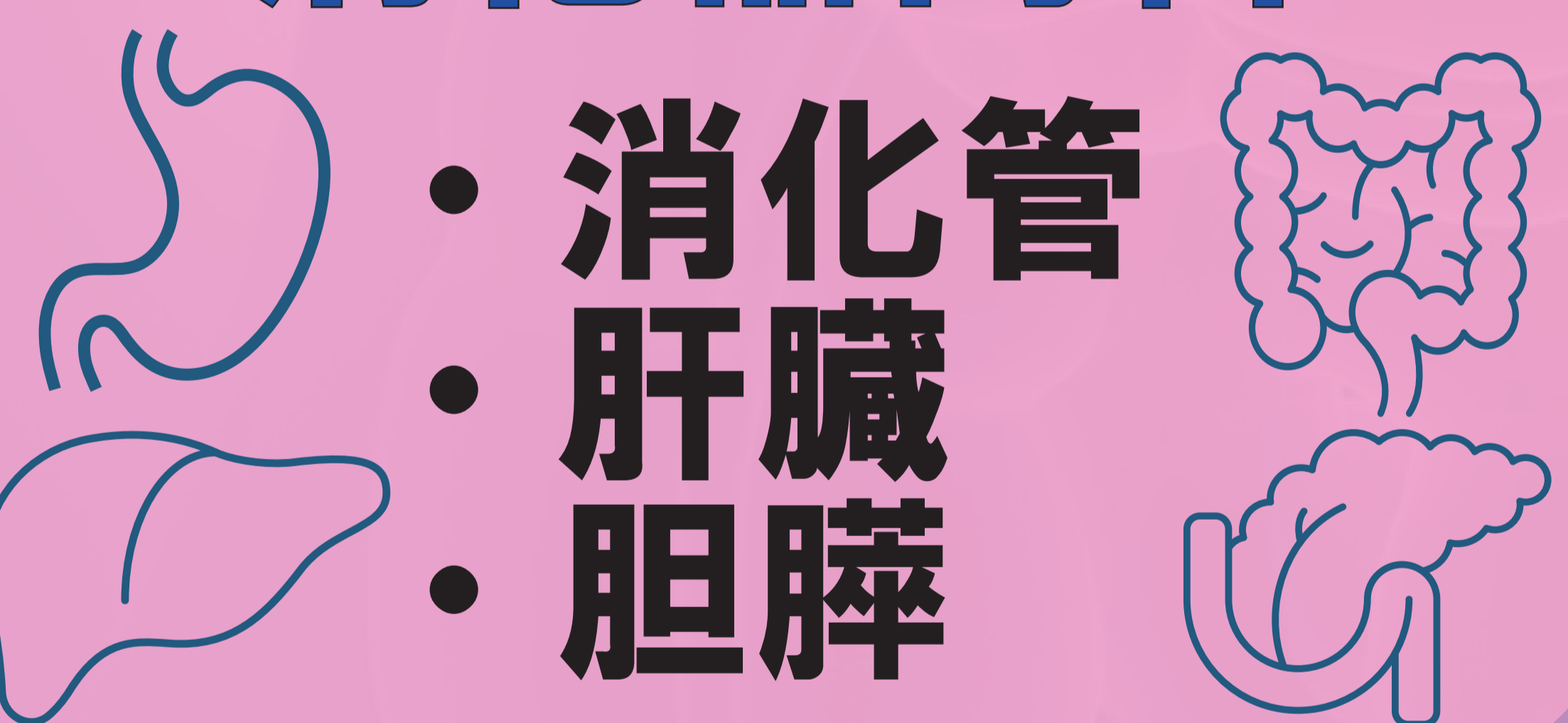
後藤聖樹 先生 遠軽厚生病院
消化器内科としては日々の病棟業務、外来、健診含め、上・下部内視鏡検査やポリペクトミーを行い、ベテラン医師の指導のもとERCPやEUS、出張医の先生と共にESDを行います。若手医師も外来を担当します。基本的に自身が対応した患者は上級医のサポートを受けながら自ら治療方針を決定し、化学療法も行います。その他、糖尿病患者さんなど、消化器以外の患者さんも多く、循環器内科以外の内科全般を担当します。消化器内科を中心に幅広く内科を学べます。

渡邊啓夢 先生 町立中標津病院
一般内科として、内科全般の疾患を経験でき、初期治療から入院加療・退院まで主治医として携わります。また定期外来、新患外来と外来業務も経験でき、内視鏡検査や内視鏡治療と消化器分野の手技も数多くあり、消化器内科医としての技能も磨くこともできます。内科専門医の取得に必要な症例を数多く経験でき、内視鏡手技も経験できることから、消化器内科のみならず、一般内科として幅広い分野の診療を経験し、学ぶことのできる病院です。

小野田翔 先生 富良野協会病院
富良野地域の中核となる総合病院であり、後期研修医を含めた常勤医師4人で消化管・胆膵・肝臓の全ての分野の患者を受け持つため、幅広く研修を積むことができます。健診の内視鏡検査も行うため、多くの件数の内視鏡検査ができます。常勤の指導医は胆膵専門の医師で、内視鏡的逆行性胆管造影(ERCP)の手技をご指導いただけ、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は定期的に大学病院からの出張医師が来るため、マンツーマンで大学病院での研修に相当するレベルの指導をいただけます。定期の外来や病棟の主治医も担当し、朝夕でアットホームな雰囲気の中でカンファレンスを行うため、診断や治療方針を相談しながら診療できます。1年間で内視鏡の技術、外来や病棟の患者のマネジメントなど多くのことを学べました。

● キャリアパスと指導体制

消化器内科



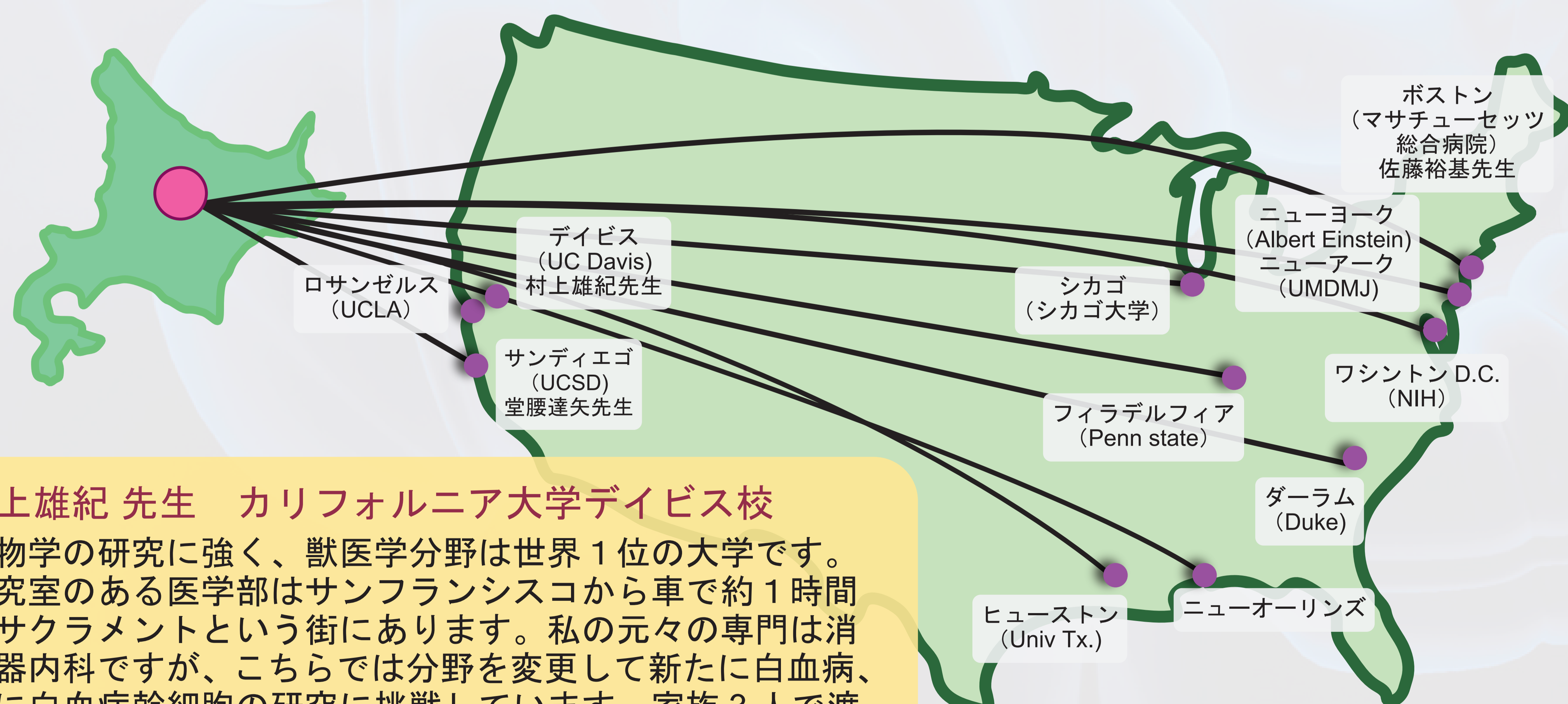
大学院～学位取得

総合的な内科診療への従事

基幹病院で最先端の技術・知識を経験

専門医研修のバックアップも十分行います！

● 留学で最先端医学を学ぶ



村上雄紀 先生 カリフォルニア大学デビス校
生物学の研究に強く、獣医学分野は世界1位の大学です。研究室のある医学部はサンフランシスコから車で約1時間のサクラメントという街にあります。私の元々の専門は消化器内科ですが、こちらでは分野を変更して新たに白血病、特に白血病幹細胞の研究に挑戦しています。家族3人で渡米しましたが、休日には地元のイベントに参加したり、観光したり(サンフランシスコやディズニーランドなど)とプライベートも充実した生活を送っています。

佐藤裕基 先生 マサチューセッツ総合病院
膵癌とサルコペニアについて、ヒト膵癌に由来するモデルを用いて国際共同研究を進めています。膵癌のサブタイプに関する研究も主要テーマとして研究しています。こちらでは厳しい競争環境がありますが、純粋にサイエンスを楽しむことができ、充実した毎日です。ボストンは生命科学のメッカで、他分野の一流研究者の方とも(時にはビール片手に)交流し、楽しい研究生活を送ることができます。もちろん、それ以外の文化・芸術・スポーツのアクティビティも年中盛り沢山です！

連絡先(医局長): 長谷部拓夢
taku-has@asahikawa-med.ac.jp

